

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・春の需要に加え、この冬は特に積雪が無いことから客の動きは例年以上に好調である。イベントへの来場者も多く、受注状況は堅調で、中古車の売行きも例年を上回っている。
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・暖冬の影響で、春物の売行きは前年の7、8割も増加している。セレモニーや旅行関連商品の消費も活発であるが、セレモニーについては従来の汎用性の高いものから、ドレスアップ志向でその日だけ着る一点物へ、客の目が移っている。総じて春物商品が全体を引っ張った。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・天候が非常に良いため、従来は客の少ない朝の時間帯で売上が良い。1日に2、3度来店する人も多く、売上の確保につながっている。
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・冬物の最終バーゲン は前年と同じ割引率であったが、売行きは好調だった。暖冬で重衣料はあまり売れなかったが、早い時期から春の薄物衣料の動きが良かった。
		都市型ホテル （スタッフ）	単価の動き	・一般宴会、レストランの客単価が上昇しているが、特に単価の高い鉄板焼に人気がある。
		通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・携帯電話の新機種の発売に伴い、買い控えしていた客が来店し、販売増につながった。
		美容室（経営 者）	お客様の様子	・今年は例年になく暖冬で、業種によって差はあるが、客の動きが早い時期から活発になり、美容商品も動いている。自社の売上も前年をクリアする月が増えてきた。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・分譲住宅の販売が好調である。同時に、注文住宅の販売も例年より速いペースで進んでいる。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・来客数は変わらないが、商店街では2月に映画館のリニューアル、3月にはミニ飲食街のオープン予定など、今秋の再開発ビル完成に向けての動きが徐々に進んでいる。
		一般小売店〔鮮 魚〕（従業員）	お客様の様子	・景気が上向いている取引先がある一方で、廃業・休業する取引先が年末以降増えてきている。
		一般小売店〔事 務用品〕（営業 担当）	単価の動き	・官公庁、民間共に販売単価が下がっており、利益の確保が難しい。例年どおり、受注件数が増えない状況が続いている。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・暖冬の影響で例年より早く春物衣料の需要が高まり、来客数も増加した。冬物衣料の売上ダウンはカバーできなかったが、スプリングコートやジャケットなど、春らしい着こなしのできるパステルカラーの薄手の商品に人気があった。これらは単品売りであったが、コーディネート販売ができたため客単価が上がり、婦人衣料全体では前年の120%と好調に推移した。ただし、コートなどの重衣料は在庫が残り、苦戦した。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・暖冬で雪が無く、来客数は増えているが、客の買い回りが目立ち、客単価が低下している。単価が安く、量の少ないサラダなどの商品は動いたが、特に単価の高い肉や鍋物商材は伸びなかった。
		スーパー（総務 担当）	販売量の動き	・月の前半は冬物商品が相変わらず悪かったが、後半は春物衣料の動きが良く、ホームセンターでは園芸用品も動き始めた。
コンビニ（経営 者）		来客数の動き	・好天のため来客数は増加しているが、客単価が前年比2、3%低下している。	
乗用車販売店 （経営者）	お客様の様子	・年間を通して最需要期に入り、新規客は若干動き始めたが、代替客や見込客はまだ動かない。買い得感のある限定車や新型車を待っている気配がする。		
	乗用車販売店 （経理担当）	販売量の動き	・暖冬のなかで、登録車は前年並みの販売量であるが、軽自動車は相変わらず伸びている。	
	自動車備品販売 店（従業員）	お客様の様子	・依然として客の購入品目は限られており、ついで買いも少ない。また客は目的の商品を決めたうえで価格を比較している。	

	住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・大幅な売上の伸びは一向に見られず、良かったり、悪かったりの状態で、前年の水準を維持するのが精一杯である。	
	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・1月に回転ずしの単価を一部上げたが、好天に恵まれ、来客数の微増状態が続いている。	
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・昨年9月以降の飲酒問題も落ち着き、アルコール類の出方はここ2、3か月変わらない。今年は暖冬のお陰で売上が特別落ち込むこともなかったが、一方で客足が伸びるということもなかった。ただ、暖冬により除雪費用や灯油代等の負担が減った。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・月初めは3日間も客がないという過去にも例を見ない最悪の状況であった。中旬からはようやく客に動きが見られ、貸切りや団体客などで例年並みの売上を確保した。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・雪が全く降らず、暖かい日が続いたため、マイカーやバスでの通勤が多く、朝夕の時間帯は暇であった。また夜の街では平日は閑散とし、金、土曜日の人出でやっと持ち直している状況である。	
	その他レジャー施設(職員)	単価の動き	・来客数の増減はないが、施設内での売上や単価は依然として横ばいか下降傾向にある。	
	住宅販売会社 (総務担当)	来客数の動き	・収益物件に対する集客に底固さを感じられる半面、一戸建て住宅では横ばい状態が続いている。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	それ以外	・暖冬で衣料は売上不振が続き、例年なら春物の展開が見られる売場も仕入れができないため、品薄状態の感がある。暖かい日が続くにもかかわらず、まだ冬物処分といった売場が多くみられる。	
	スーパー(店長)	単価の動き	・来客数は前年並みであるが、客単価は野菜の相場安の影響で前年の95%に落ちている。	
	コンビニ(経営者)	お客様の様子	・2月は全般的に天候に恵まれたが、売上指数の上がる週末は寒い日や雨の日が多く、来客数は微増、客単価は低下、売上は前年比100%にとどまった。商品別には主力の中食が10%以上の減少、バレンタインデーの季節物は大幅増、アルコール、たばこは好調などと、ばらつきが大きかった。マイナスの要素としては、必要な物を必要な数だけ購入するという態度を示す客が徐々に増加している点である。	
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・2月は衣料販売にとって季節の変わり目ということもあるが、来客数も少なく、購買に対する意欲があまり感じられない。	
	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・売上、来客数共、前年に比べ減少している。	
	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・販売高が豪雪被害のあった前年に比べても落ち込んでいる。今月の旅行契約者が市内中心部から複合商業施設がオープンした駅前地区に流れたためとも考えられる。	
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・暖冬にもかかわらず、商談案件の動きが鈍く、契約につながらない。	
	悪くなっている	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・店の近くで行われていた現場工事が終了し、関係者がいなくなったため、来客数が大幅に減少した。
タクシー運転手		販売量の動き	・暖冬と、規制緩和によるタクシー台数増加の影響で、売上は前年の80%に低迷している。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・婦人の春物衣料の動きが非常に良い。
		一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・従来、リピートユーザーからの受注比率が60~70%であったが、最近80%強と高くなっている。ただ、同じユーザーからの受注が複数台に増えると、半年、1年後に下降傾向をたどる懸念を抱えることになる。
変わらない	輸送業(配車担当)	受注価格や販売価格の動き	・前月に引き続き荷動きが良くなっている。暖冬により燃料費が抑制され、雪による事故なども発生しなかった。	
	食料品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・高付加価値商材が伸びているものの、暖冬の影響で冬物商材が落ち込んでおり、全体的な消費量は変化していない。	
	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・防寒衣料の生産比率が高いため、異常な暖冬の影響が受注面で徐々に表れている。昨年と比べると受注に力強さが無い。	

	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・従来から生産中の商品の受注は前年に比べ減少が続いている。4月以降に若干戻す気配があるが、それ以上の好転とはならない。	
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・数か月前と比べ、取引先による温度差はあるものの、総量としてはやや増加気味である。ただし、トレンドとしてはまだ不透明感がある。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・建設業関連では厳しい状態が続いている。	
	会計事務所（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・建設、小売店、ホテル旅館等では厳しい状況が続いており、好調な輸出関連事業者（自動車部品、機械器具等）との間に大きな差が生じている。	
やや悪くなっている	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が若干減少し、工場の稼働率が落ちている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年に入っても暖冬が続き、全く雪が降らないため、繰越工事が少ない上に除雪作業もなく、売上が上がらない。除雪作業は単価契約のため除雪に要する固定費をまかなうことができず、1月は例年以上の赤字となった。	
	司法書士	取引先の様子	・建築、土木関係業者のなかで複数の会社に倒産のおそれがあるということから、債権保全の依頼が増加している。	
悪くなっている	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上金額の減少により、資金繰りが厳しくなってきた。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は前年の2割増となっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・派遣需要は少し増えているが、経験者や即戦力者が求められるため、人材の確保が間に合わない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人は相変わらず堅調に推移しているが、今年は例年以上に年度末対策と思われる短期派遣要請が目につく。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人の募集活動が活発なことから、在職求職者が引き続き増加している。加えて、自己都合による離職者が、ここ2か月大幅に増加している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・紹介、派遣ともCAD操作設計のオーダーが増加したが、人材不足によりミスマッチが続いている。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業では業務をより効率的に行うための人員整理が続いている。
	悪くなっている	-	-	